

O-CHA-NO-MA Hi-Fi SHOCK!

別冊 **intoxicate**

# AUDIO **intoxicate**

2011.11  
**TAKE  
FREE**  
vol.2

**interview**

**中島ノブユキ** (作編曲家・ピアニスト)

こだわらずにこだわる音

**福岡耕造** (写真家)

すべての基準はビートルズ

*audio intoxicate the best case*

解説：和田博巳

写真：中島ノブユキの自宅兼事務所 ©Naoki Hashimoto

**TOWER RECORDS**



<http://tower.jp/>



## 少しだけ頑張って、 大きなオーディオ的快感を

text：和田博巳

### 音楽ファン 10 人に聞きました。

「ビュアオーディオとかオーディオマニアという言葉聞いてどんな感想を持ちます か？」

答えは、おそらく 8 人くらいは「別に」とか、「いいオーディオ装置は確かに欲しいけれど……」という感じだと思う。で、この後に続く言葉はだいたい「CD をたくさん買いたいから（しかたがないけど我慢だね）」。

でもちゃんとした装置で音楽を聴いたことがある人なら分かると思うが、パソコンのヘッドフォン端子に安いパワードスピーカーを繋いで聴いたり、iPod に代表される携帯ヘッドフォンステレオで聴いたりというのは、実はちゃんと音楽を聴いたことにはならない。それほど CD や LP レコードにはいろんな音（情報）が素晴らしい音質でたくさん詰まっている。もちろんそんなことくらい実はみんな知っている。でも「いい音」とか「ビュアオーディオ」といった言葉を聞くと尻込みしてしまうのだ。何故かって、もの凄くお金がかかりそうだから。

つまり「ビュアオーディオ」なんて言うからいけないのである。一部の人間が高価なオーディオ機器をすらすりと並べて悦に入っている、そんな姿が目に見えてしまうから。あれは確かにあまり美しいものではない。何百万円、あるいはそれ以上もしような装置を使っているのに、CD や LP はどう見ても 50 枚あるかどうか、そんな感じに映るから。

もうひとつ問題があって、それはオーディオショップというところ。こういう記事を読んで、じゃあちょっと音を聴いてみようかと出かけてみても、初めての人にはいささか敷居が高い感じだ。だが、これについては実はもう心配なくていい。特別にハイエンド（というかハイプライス）なコンポーネントだけ取り揃えている高級店は別として、普通のオーディオショップは全く心配無用といえる。あちらだってこの不況下、お客さんの減少にブレーキがかかかなくて困っているのだから。これからオーディオをやってみようという人は大歓迎されると思う。どのショップの店員さんもけっこう親切です。話を元に戻そう。

「ビュアオーディオ」とか「いい音を」なんて言うからいけない。ビュアオーディオしましろう、いい音を聴きましようではなく、自分の大好きな音楽を、より「味わいつくす」ための道具として購入してはどうだろうという、これは提案なのである。コルトレーンでもベートーベンでも、ニルヴァーナでもレディ・ガガでも何でも……。より豊かなサウンドで聴けば、今までとは全く違った喜びが得られる、世界が開けると、そこははっきり約束します。今回この「AUDIO intoxicate」で紹介している各コンポーネントは、一般に言うエントリークラスの製品ばかり。「フムフム、このくらいなら何とか買えそうだ」という人もいれば、逆に「入門向けがこんなに高いのか」と思う人もいるでしょう。でも頑張ってこのあたりから始めてもらえると、その音楽の素晴らしい鳴り方にきっとビックリするはず。聴きなれた CD を次から次へと聴き返したくなると思う。それほど「録音された音楽」は素晴らしい。うまくやると、生では聴けないような「オーディオ的快感」を、このクラスのシステムでも味わうことができる。だから、ぜひともこのあたりから始めていただければと。

アーティストもプロデューサーもエンジニアも、みんな全身全霊を込めて録音に取り組んでいる、それは確か。どうでしょう、ひとつオーディオ装置を新調してみませんか。



きっと満足できるスタンダードなモデルたち

## デノンの定番アンプ／SACD プレイヤー 音楽の都からやってきたスピーカー

プリメインアンプ：DENON PMA-1500SE

CD プレーヤー：DENON DCD-1500SE

スピーカー：Vienna Acoustics Haydn Grand Symphony Edition



DENON PMA-1500SE

大ヒットモデルにして定番

豊かな電流供給力を持ち、広大なダイナミックレンジを実現する素子、信号の純度を守るためのシンプルな回路、余計な振動の防止等、デノン独自の技術が投入された超定番モデル。MM/MC 双方のカードリッジに対応する高性能のフォノイコライザーの搭載はアナログレコードファンには見逃せないポイント。

■定格出力 70W + 70W ■フォノ入力 (MM/MC)、ライン入力 × 5 ■ W434 × H134 × D410mm ■ 15.5kg

¥94,500 (税込)



DENON DCD-1500SE

フラッグシップ機のテクノロジーを搭載する

デノンの SACD/CD プレーヤーのフラッグシップ機である DCD-SX のために開発された、advanced AL32 Processor を搭載。16 ビットのデータを 32 ビットにアップコンバートすることで、微妙なニュアンスまでを滑らかに再現する。上位機種と同等の性能をもつ 192kHz/32bit の D/A コンバーターも搭載。こちらもロングセラーであり、定番のモデル。

■ SACD/CD ■アナログ出力 (RCA)、デジタル出力 × 2 (光 / 同軸) / USB 入力 ■ W434 × H135 × D331mm ■ 8.0kg

¥94,500 (税込)



Vienna Acoustics  
Haydn Grand Symphony Edition

第 3 世代に進化したウィーンの老舗ブランドによるブックシェルフスピーカー

大編成のオーケストラが奏でる壮大なサウンドをブックシェルフタイプのスピーカーで再現する、という目標を掲げて登場した「ハイドン」の第 3 世代にあたるモデル。新開発のスパイダーコーンユニットの搭載や、細部の見直しによって、交響曲を聴く際に欠かすことのできない各楽器のダイナミクスがより明確に。

■ 2 ウェイ ■ 15.2cmX3P スパイダーコーンウーハー、2.5cm3 層コーティングネオジウムマグネットツイーター ■ H361 × W174 × D264mm ■ 8.2 kg

ローズウッド、ピアノホワイト：¥247,800 (税込 / ペア)  
チェリー、ピアノブラック：¥231,000 (税込 / ペア)

Vienna Acoustics  
Mozart Grand Symphony Edition



よりいっそうのスケール感をもつ上位モデル

「ハイドン」とともにモーツァルトも第 3 世代への進化。中低域は新たに開発された 15.2cmX3P スパイダーコーンが搭載され、もう一基用意された 15.2cmX3P コーンミッドウーハーへと接続されることにより、より重厚なサウンドへと進化を遂げている。現在もオーストリア国内で職人によってひとつひとつハンドメイドで作られる同ブランドを代表するモデルのひとつ。

■ 2.5 ウェイ ■ 2.8cm カスタムメイドシルクドームトゥイーター、15.2cmX3P スパイダーコーンミッドウーハー、15.2cmX3P コーンミッドウーハー ■ H972 × W216 × D343mm ■ 18.5 kg

ローズウッド、ピアノホワイト：¥438,900 (税込 / ペア)  
チェリー、ピアノブラック：¥417,900 (税込 / ペア)

### このあたりから始める 3 つのセット

オーディオマニアが使うような凄いオーディオシステムを欲しいとは言わないけれど、それでも好きな音楽はできるだけいい音で聴きたい。そう考える音楽ファンは多いはず。そこでちょっと頑張っている程度立派で、もちろん音はすこぶるいいというオーディオシステムを手に入れてみませんか。車と同じで手に入れてしまえば 5 年や 10 年は不満無く使えるのだから。というわけで皆さん、本格的で音の良い、でもそれほど財布に厳しい、そんなオーディオシステムの提案です。最初はクラシックやヴォーカルのファンにも十

分喜んでもらえる、ソノリティ豊かな組み合わせから。

スピーカーは音楽の都、オーストリアからやってきたヴィエナ・アコースティクス製のハイドン・グランド・シンフォニーエディション。ウーファーとソフトドーム・トゥイーターを各 1 基搭載したオーソドックスな 2 ウェイ・ブックシェルフタイプである。このスピーカーに組み合わせるプリメインアンプは、デノンの PMA-1500SE を選ぶ。弦楽器やヴォーカルを程よい温度感と共に瑞々しい音で鳴らしてくれるから。

(次頁へ続く)



きっと満足できるスタンダードなモデルたち

## USB-DAC としても使用できる マランツの SACD プレイヤー デンマーク、ダリのニューモデル

プリメインアンプ：MARANTZ PM8004  
CD プレーヤー：MARANTZ SA8004  
スピーカー：DALI ZENSOR 7



### MARANTZ PM8004

中域のトーンコントロール機能が大きな魅力

この価格帯では数少ない、中域用のトライ・トーンコントロールが搭載されているマランツの人気プリメインアンプ。プリ/パワー部に採用されるフルディスクリートの電流帰還型増幅回路や上位機種にも搭載される高速アンプモジュール HDAM-SA2 など、同社独自の技術が投入されている。

■出力 70W + 70W ■フォノ入力 (MM)、ライン入力×3  
■W440 × H130 × D379mm ■12.2kg

¥100,000 (税込)

### MARANTZ SA8004

SACD だけでなく、96kHz/24bit の音源も再生可能な USB-DAC を搭載

従来からのロングセラーモデルだが、8004に進化して、USB-DAC としての機能を搭載した。同軸は 192kHz/24bit まで、USB 入力 は 96kHz/24bit までのファイル再生に対応する。SACD/CD プレイヤーとしての評価も高い上に、ハイレゾ音源の再生も可能というだけあって、大きな人気を集めるモデルだ。

■SACD/CD ■アナログ出力 (RCA)、デジタル入出力×2 (光/同軸) / USB 入力×2 (タイプ A/ タイプ B) ■W440 × H109 × D344mm ■7.8kg

¥100,000 (税込)

### DALI ZENSOR 7

デンマークの老舗メーカーのニューモデル

ダリの新シリーズにして超お買い得のセンソールの 3 モデルのうち、フラッグシップのフロアスタンディング型スピーカー。聴く場所を選ばない広いスイートスポット、同社スピーカーの各モデルで使用されているのと同じウッドファイバーコーンを採用したきめ細やかなサウンドが魅力。アルミ製のフロアベースが標準で装着されており、付属のスパイクと組み合わせることで、明瞭な低音を再現することができるようになっている。

■2 ウェイ ■180mm コーンウーハー、25mm ソフトドームツイーター ■H978 × W205 × D312mm ■14.9kg

¥126,000 (税込 / ペア)

SACD プレーヤーもデノン DCD-1500SE としたのは、デザインを揃える意味もあるが、やはり硬質感のない滑らかな音を買ってのことである。

このシステムで聴く、例えばポール・ルイスのピアノによる『ベートーヴェン・ピアノ・コンチェルト第 5 番』は、豊かな空間にピアノの一言一音が美しい響きを伴って立ち上がり、そしてゆっくり消えてゆく。その余韻の滞空時間の長さが素晴らしい。この音によりいっそうのスケール感を求めたいという人には、同シリーズのトールボーイタイプ、モーツァルト・グランド・シンフォニーエディションをお薦めする。キャビネットの仕上

げの美しさもため息ものだ。

2 番目は、音楽はジャンルを問わず何でも聴くという人のためのオールマイティなシステム。スピーカーはダリのニューモデル、センソール 7 とする。キャビネットは木工技術に秀でたデンマーク製らしい美しい仕上げで、しかもダブルウーファースの 2 ウェイフロアスタンディング型がこの価格というのはお買い得感が高い。プリメインアンプと SACD プレーヤーはマランツの PM8004 と SA8004 のペアとした。クリアーで軽快に弾む楽しい音が堪能できるし、SA8004 の USB 入力を利用して PC に保存したハイレゾ音源の再生も可能である。トニー・ベ

ネット『デュエットⅡ』のような、ビッグバンドを従えたゴージャスなアルバムには、このシステム最高だ。

3 番目はスタイリッシュなデザインで、音はたいへん透明、加えて広大な音場感が楽しめるというシステム。スピーカーはエラック 310IB が第 1 候補だ。堅牢なアルミ押し出しキャビネットは音を濁らせることがなく、音像をキュッと小さく結ぶ。この点音源をさらに追求して、音場感もいっそう広大という人には、イクリプス TD510 もお薦めである。こちらは迫力は求めないが、より精緻でいっそう広大なサウンドステージという人に向いているスピーカーだ。エラック

きっと満足できるスタンダードなモデルたち

## 必要なものがすべてそろった Aura のプリメインアンプ／CD プレイヤー エラックの新しいスタンダードスピーカー

プリメインアンプ：Aura vita  
CD プレーヤー：Aura vivid  
スピーカー：ELAC 310 INDIES BLACK



### Aura vita/vivid

Aura から大注目の新製品がデビュー

プリメインアンプ／CD プレイヤーの一体型である note premier など知られる Aura から、これまでになかった価格と機能のニューモデルが登場。vivid は同社高級モデルの neo と同一の DA コンバーターを採用する CD プレイヤーであり、24bit/192kHz までのハイレゾ音源が再生可能な DAC でもある (オプションで用意される DD コンバーターを使用する)。vita は上級機である groove や note premier と同様に日立製

vita ■出力 50W + 50W ■フォノ入力 (MM)、ライン入力×3 (RCA × 2/XLR) ■W430 × H64 × D300mm ■6.4kg

の MOS FET を搭載するプリメインアンプで、フォノ入力や USB 入力 (48kHz/16bit まで) や FM/AM チューナーを備える。もちろんデザインはイギリスの著名なプロダクトデザイナー、ケネス・グランジによるもの。音質、機能、デザインが 3 拍子揃った今後大注目のモデルである。なお、iPod とのデジタル接続が可能になるオリジナルドッグのオプション発売も予定されている。

vivid ■CD ■アナログ出力 (XLR/RCA)、デジタル出力 (同軸) / デジタル入力×3 (同軸/TOS × 2) ■W430 × H64 × D270mm ■4.8kg

vivid/vita ともに各¥126,000 (税込)

### ELAC 310 INDIES BLACK

更に研ぎ澄まされた 310CE のアップグレードモデル

ドイツを代表するスピーカーブランド、エラックの代名詞的存在である 310CE のアップグレードモデル。クリスタル振動板を改良し、ネットワーク部に極めて高品位なパーツを投入したことで、310CE 以上に澄み切った美しい音を実現している。とにかくサイズからは考えられない音質。是非とも専用スタンドと合わせて使用したい。

■2 ウェイ ■115mm Black AS-XR ウーハー、JET III ツイーター ■H208 × W123 × D270mm ■7.0 kg

¥252,000 (税込 / ペア)

310IB と組み合わせるのは、オーラ最新の CD プレーヤー vivid とプリメインアンプ vita のペア。写真でご覧のとおりどちらも薄型で、鏡面仕上げのクロームフィニッシュパネルが惚れ惚れするほど美しい。

このシステムからは、澄み切った広大なサウンドステージにヴォーカリストやソロ楽器がホログラフィックにポツと浮かぶという、まさにオーディオ的な快感が味わえる。

これら 3 つの組み合わせの中に、きっと貴方にピッタリのシステムがあると思う。いい音楽はできるだけいい音で聴きたいですね、ぜひご検討下さい。



### ECLIPSE TD510

多くの著名ミュージシャンが愛用する TD シリーズのスタンダードモデル

ブライアン・イーノ、マイケル・ナイマンやジョン・ウィリアムズらをはじめとして、世界中の多くのミュージシャンやエンジニアから支持されるイクリプス、TD シリーズのスタンダードモデル。「タイムドメイン理論」に基づいて、本来の音波形を忠実に、全くの色付け無しに再現する。アコースティック楽器のリアルなサウンドは驚きの一言。

■フルレンジ ■10cm スピーカー ■W240 × H362 × D345mm ■9.3kg

¥92,400 (税込 / 一台)





©Naoki Hashimoto

# 中島ノブユキ (作編曲家・ピアニスト)

## こだわらずにこだわる音

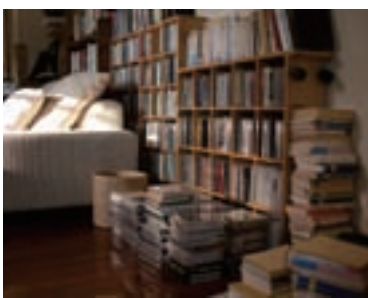
interview



電子ピアノやコンピューターが置かれた机の脇のラック。コルグの音源モジュールの下はお気に入りのというマランツのSACDプレイヤーSA7001。



アルバム『pianona』に収録された《Thinking of you》の12インチが乗るのは、デノンのDP-37F。カードリッジはデノンのMC型、DL-55。



クラシック、現代音楽からジャズ、ロックなどを中心としたCDラック。その奥には、『雨月物語』の横に『エクソシスト』が並んでいたりするDVDラックがある。

### ■ NAKAJIMA'S ITEM



中島ノブユキ (なかじま・のぶゆき)

作・編曲家、ピアニスト。菊地成孔(ベベ・トルメント・アスカラル他)、UA、ゴンチチ、沖仁、高木正勝、CALMらの編曲やピアニストとして嵐山美由紀、高田漣、原田知世らと共演。自身のソロアルバムに『エテバルマ』『パッササイユ』『メランコリア』やコラボレーションアルバム『pianona』があるほか、映画『人間失格』(荒戸源次郎監督)などの映画音楽も手掛ける。現在は2011年10月から2012年夏まで行われるジェーン・バーキンのワールドツアー(Jane Birkin sings Serge Gainsbourg "VIA JAPAN")に音楽監督、編曲家、ピアニストとして参加中。2012年にはソロピアノアルバムをリリース予定。



『MELANCOLIA』  
中島ノブユキ  
(SPIRAL RECORDS  
XQAW-1101)



『Thinking of you  
EP』中島ノブユキ  
(BEAMS RECORDS  
BBR-A-6026)



パワーアンプはスチュワートのプロリファレンス500。PA用のアンプだが、ハリのある良い音がすること。



どうしてもこれじゃないと楽譜が書けない、と言うほど長い間使っているテーブル。曲線が体に馴染んでしまっているそう。



約20台試聴した結果、『グッと来て』購入したASWのGENIUS100。

「ジェーンはとにかく素晴らしい人ですよ。愛されるべくして愛されている人なんだなと思いますね。私はこうしたいから、あなたはこうして下さい、みたいなことを一切言わないんですよ。誰かが何かをしていたら、自分はその為に何かをしたい、何が出来たのかというふうに考えるタイプのひとじゃないかな。」

今年四月に単身で来日し、チャリティコンサートや街頭での募金活動、被災地への訪問を行ったジェーン・バーキン。そのチャリティコンサートで彼女と共演したことがきっかけで、音楽監督、編曲家、ピアニストとしてジェーン・バーキンの世界ツアーに参加している中島ノブユキ氏を自宅兼仕事場に訪ねると、終えたばかりの北ヨーロッパツアーの話がとても嬉しそうにしてくれた。

中島さんの自宅兼仕事場は都心にあるマンションの一室。日当たりの良い20畳ほどのスペースだ。「仕事をしていない時は、だいたい寝転がってますね(笑)」と本人が言うのも納得の、とてもリラックスできる広々とした空間。ここで、作曲や編曲の仕事をこなし、音楽も聴く。

「これはASWのジニアス100というスピーカーです。昔はヤマハのそのころを使っていたんですけど、スタジオで聴いている音と同じだと耳が疲れてしまうので、リスニング用にも使えるものが欲しいなと思っていました。その前にリスニング用にと買って、これとは別のスピーカーを買ったんですけど、それは仕事で使うには音が柔らか過ぎた。それで、作業環境にリスニング環境が同居できるスピーカーをということとでこれを買いました。結構探しましたよ。ショップに行くと、それこそ二十台くらい聴いたのかな。決め手？、決め手はね……グッと来たから(笑)。デザインも好きだったしね。」

そのASWのスピーカーは米スチュワート社のパワーアンプ、Pro Reference 500に接続されている。中島さんにこのアンプを勧めてくれた知人の方によると、これは所謂「転

普通の機材で普通に音楽を聴きたいと思ったんです

がし」(ステージ上などに置かれるモニター用のスピーカー)を駆動させる為に使われることの多いアンプだそう。でも、とても良い音がするんです。バーン抜けてハリがきちんとある。このアンプもずいぶん探して買ったんです。」

SACDプレイヤーはお気に入りだというマランツのSA7001。デノンのアナログレコーダプレイヤーDP-37Fもある。機材を買う時はかなりいろいろとチェックされているようですが、もともとオーディオにはこだわらないで買ったんですか？

「オーディオってお金がかかるじゃないですか(笑)。一時期、ケーブルとか電源とか買いまくってました。その時はケーブル貧乏になりましたからね(笑)。前に住んでいた家では電源の工事までやってたし。でも、あまりにもその方向に気が取られて、音楽に気が向かなくなってしまったんです。音楽を聴いてるとスピーカーの位置が気になって集中できなかったり、ケーブルを換えればもっと良い音になるんじゃないかと……、そんなことばかり考えるようになってしまった(笑)。その時に、普通の機材で普通に音楽を聴きたいなと思ったんですよ。」

当時購入した「それなりの値段はする(笑)」と言ったケーブル類は現在も使用しているそうだが、ケーブルや電源にまでこだわった時期を経た今、作り手として、そしてリスナーとして、オーディオについてはどのように考えているのだろうか。

「気持ちのいい音で聴きたいという大前提はあるんです。僕は気持ちのいい音が好きだし、音楽を自分が満足できる環境で再生したいとも思う。その反面で、誰かの言葉じゃないけど、良いモノはメディアを選ばない——仮にカーステや小さいラジカセで聴いたとしても訴えかけてくる音楽もある——とも思うんです。耳ってとても敏感な器官でしょ？退化もすれば過敏にもなる。だから僕はその両方の考えを持っていると思うんですよ。」



audio intoxicate the best case

## 多様化するリスニングスタイルに対応した 21世紀型ミニコンポ

DENON RCD-N7  
MARANTZ M-CR603



■ DENON RCD-N7 / SC-N7



### AirPlay 対応。様々な音楽ソースの高音質再生が可能

世界で初めて AirPlay に対応した製品のひとつとして話題だが、音質にこそ注目したい。65W+65W 出力のデジタルアンプを搭載し、CD はもちろん iPhone/iPod、WAV や FLAC (24bit/96kHz まで対応) 等

■出力 65W + 65W ■ライン入力×2、デジタル入力 (光)、iPhone/iPod、USB メモリー、Portable In、AirPlay (※有償アップグレードで対応) ■W280 × H112 × D299mm ■4.3kg  
[スピーカー部] ■2 ウェイ ■ウーハー：120mm コーン/ツイーター：25mm バランスドーム型 ■W145 × H233 × D236mm ■2.3 kg

オープン価格 (RCD-N7：実勢価格 ¥55,000  
SC-N7：実勢価格 ¥15,000 / ペア)

■ Marantz M-CR603 / LS603



### 4ch のデジタルアンプを搭載。スピーカーとのバイアンプ接続が可能

AirPlay、DLNA1.5 といったネットワークオーディオ機能はもちろん、4ch のデジタルアンプを搭載し、スピーカーとのバイアンプ接続 (高域/低域をそれぞれ別のア

ンプ駆動させること) を可能にしていることも本機の大きな魅力だ。この価格帯の製品には珍しくバイアンプ接続に対応するスピーカー LS603 も用意されている。

■出力 60W + 60W ■ライン入力×2、デジタル入力 (光)、USB、AirPlay (※有償アップグレードで対応) ■W280 × H111 × D302mm ■4.3kg [スピーカー] ■2 ウェイ ■ウーハー：120mm コーン/ツイーター：25mm ソフトドーム ■H141 × W191 × D249mm ■3.4 kg

M-CR603：¥69,300 (税込)  
LS603：¥24,150 (税込 / ペア)

PC やスマートフォンをハブとしたリスニングスタイルが定着しつつある現在、当然ながらそれらに対応した製品も百花繚乱。選ぶのに苦労するほどだ。選ぶほうからすれば、PC やスマートフォンの中にある音楽を再生したいし、CD も再生できて、音質だって良いほうが良い。そのほかにもいろいろできると魅力的、なはず。ミニコンポと呼んでいいのかどうか、少なくともミニコンポの進化形である両機種は、多様化する現在のリスニ

ングスタイルにしっかりと応えてくれる製品だ。PC や NAS とのネットワーク接続、iTunes ライブラリをワイヤレスでストリーミング再生できる AirPlay への対応、iPod/iPhone を高音質で再生する際に大きなメリットとなる USB でのデジタル接続が可能で、もちろん CD も再生できる。その他、FM / AM チューナーやインターネットラジオへの対応も魅力的。肝心の音質面につい

ても抜かりはない。両社ともハイエンドなオーディオを手掛けるメーカーだけあって、こだわりの技術が投入されており、コンパクトなサイズや手頃な価格ながら、各楽器の輪郭は明瞭で、ステレオ感や奥行き、定位の再現も的確。作り手の意図がしっかりと伝わるサウンドであり、ふくよかに音楽を奏でてくれる。

### RCD-N7、M-CR603と組み合わせたい

ヨーロッパを代表するメーカーから登場した  
実売 4 万円以下のスピーカー  
ELAC BS52.2 / DALI ZENSOR 1

両機種とも別売りのスピーカーが用意されているが、せっかくなら、もうワングレード上のスピーカーも検討したいところ。ここ最近、比較的安い価格で「スモール・パット・グレイ」なスピーカーが各社から発売されているが、ヨーロッパを代表する老舗メーカーが今年驚きの価格で発売したのが、ここで紹介する 2 モデルである。まず、ドイツを代表する老舗であるエラックの BS52.2 は従来のエラックのスピーカーでは考えられなかったペア 4 万円での発売。代名詞とも言える JET III ツイーターを搭載した 310CE をはじめ、名高いスピーカーを多く発売している

エラックだが、これまでなかなか手が届きにくかった同社スピーカーをいきなり身近にしてくれたのがこの BS52.2 である。対するデンマークのダリは Zensor 1 を 37,800 円で発売。高い人気を誇る Mentor Menuet や IKON シリーズをはじめとして、多くのヒットモデルを有する同社のウルトラロープライス機である。北欧のメーカーらしいデザイン性の高さも魅力だ。どちらも和田博己氏大推薦の超お買い得モデル。是非、RCD-N7 もしくは M-CR603 との組み合わせで使いたい。

	
■ ELAC BS 52.2	■ DALI ZENSOR 1
■ 2 ウェイ ■ 110mm ELAC オリジナル・バルブウーハー、25mm ELAC オリジナル・シルク・ドームツイーター ■ H210 × W136 × D165mm ■ 2.3 kg	■ 2 ウェイ ■ 130mm コーンウーハー、25mm ソフトドームツイーター ■ H274 × W162 × D220mm ■ 4.2kg
¥ 42,000 (税込 / ペア)	¥ 37,800 (税込 / ペア)



# 福岡耕造

(写真家)

interview

## すべての基準は ビートルズ



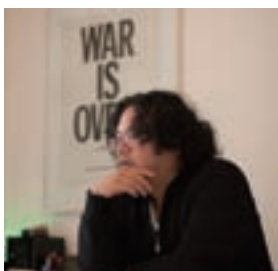
©Naoki Hashimoto

稼いだ金は全てビートルズに突っ込んでる(笑)  
でもそれだけの価値があると思う

写真家として、雑誌や広告、CDのジャケットやミュージシャンの写真集などを手がける傍ら、ビートルズの研究としても知られる福岡耕造さんの事務所は中目黒の駅からほど近いビルの一室にある。「とにかく写真とは無縁の場所にいたかった」と笑う約15畳ほどのスペースの中心は大量のレコードと「友達と集まって音楽を聴くため」のオーディオセット。おまけに部屋の一角には本格的なバーカウンターまである。言われなければここが写真家の事務所だとは誰も思わないだろう。実際、訪れた人は揃ってそう言うらしい。「夜になると音がレコードを聴きに集まってくるんですよ。それと、僕はバンドもやってるんですけど、ライブが終わったらずぐに皆でここに来てライブの映像を見ながら騒いだりとかね。楽しいですよ(笑)」

大学卒業後に広告プロダクションに入社しプロのカメラマンとしてのキャリアをスタート。29歳の時、「とにかくビートルズがどんな場所生まれ育ったのかを見てみたかった」と言うイギリスを一年間に渡って放浪しながら各地で写真を撮り続けた。それから現在に至るまで、リヴァプールやロンドン、ハンブルグ、ニューヨークなど、ビートルズにゆかりのある場所を幾度となく訪れては撮影を行い、3冊の本を発表している。だからオーディオもあくまでビートルズが基準だ。

「ビートルズのUKオリジナルのモノラル盤に合わせたシステムですね。ケープル一本でウン万円とかそういうことまではしてないけど、自分にとっての良い音がするシステムかな。ヴォーカルがすごく綺麗に聴こえるんですよ。ロジャースのスピーカーLS7は25年くらい使っています。ビートルズを聴くならイギリスのスピーカーだろうと思ってね。しかも、BBCのモニターとして使われていると知ってそれで惹かれてしまった(笑)」



福岡耕造 (ふくおか・こうそう)

1960 年長野県生まれ。写真家／ビートルズ研究家。東京造形大学卒。広告プロダクション勤務を経て、イギリス放浪の旅へ。帰国後、フリーの写真家として活動を開始。広告、雑誌を中心に第一線で活躍している。また、20 年以上にわたり世界中のビートルゆかりの地で取材を行い、これまでに3冊の著書も発表している。写真展や受賞歴も多数。



NEW  
「ビートルズ  
追憶の彼方」  
福岡耕造  
[アールス出版  
9784862041920]

「ここ最近の掘り下ろしまで全て含めて、今までやってきたことの集大成だと思っています。二作目はリリー(・フランキー)に書いてもらったりとか、これまで僕は文章を書いていなかったんですけど、今作は全て自分で書いています。自分のインプレッションやビートルズへの愛を詰めたつもり」  
海外での取材や撮影には自費で赴き、家族旅行もビートルズゆかりの地が選ばれる。「ハワイでのんびりするとか、そういうことは一切しないからね(笑)」

### FUKUKA'S ITEM



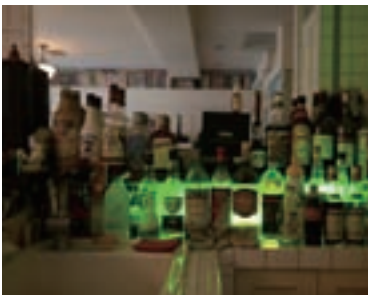
プリメインアンプはマランツPM-17。その上にはラックスマンのフォノイコライザーアンプE-200が置かれている。



モノラル専用で購入したビクターのQL-Y7。カードリッジはデノンの定番、DL-103だ。



こちらは主にLP用に使われるPRO-JECT2。カードリッジはシュアのv15svが使用されている。



友達が集まると、明け方になってしまうのもしょっちゅうだとか。大体のカクテルは作れてしまうほど、お酒の種類も豊富だ。



ジョン・レノンが使っていたものと同じ型の「モパイル」ジュークボックス。ジョンはこれを旅先のホテルに持ち運んで聴いていたという。



「ビートルズを聴くならイギリスのスピーカーだろうと思って」購入したロジャースのLS7。25年以上を経た今も現役。



audio intoxicate the best case

AV AMPLIFIER + UNIVERSAL PLAYER

## AV アンプ+プリメインアンプ+ネットワークプレイヤー= AV アンプ？

所謂「ホームシアター」用の製品という印象は既に過去のものだ。それほどこの数年におけるAVアンプの進化は著しい。「ビュアオーディオにはちょっと…」というかつての常套句は、「同クラスのプリメインアンプに匹敵するかもしれない」という評価に移行しつつあり、CDの再生においてもプリメインアンプに遜色無い音質を得ることができるようになってきた。加えて、PCやNAS（ネットワーク接続が可能なハードディスク）と有線もしくは無線で接続し、PC／NAS内の音楽ファイル、それも24bit/96khzなどのハイレゾファイルの再生が可能で、ネット

ワークプレイヤーとしても使用できるモデルもある。AirPlayに対応したモデルは、PC/MAC、iPhoneやiPadなど、itunes内の音楽をワイアレスでストリーミング再生することも可能。もちろん、本来のAVアンプとしての性能も大きく向上しており、部屋の形状などに合わせて自動で音場を補正してくれる機能のほか、iPadやiPhone用アプリのグラフィカルなインターフェースを使用して手動設定することも可能になっている。こうして見てみると、昨今のAVアンプの存在は、プリメインアンプなどの単体機器に匹敵する機能を全て搭載した、コストパフォー

マンスの高い全部入り製品と言えるのかもしれない。

プレイヤーにおける全部入りと言えば、ユニバーサル・プレイヤーである。ブルーレイにDVD、CDはもちろんスーパーオーディオCDやDVD-AUDIOの再生に対応するほか、スーパーオーディオCDのマルチチャンネルに対応していることも大きな魅力で、数多くのロック／ジャズ等の名盤がスーパーオーディオCDのマルチチャンネルでリリースされ始めた昨今、非常に魅力的な選択肢のひとつであると言える。

■ DENON AVR-3312



■ MARANTZ NR1602



■ MARANTZ UD7006



### デノンの中堅ラインを牽引する実力機

多数のラインナップを擁するデノンのAVアンプの中で、価格／性能のバランスに優れたミドルクラスモデルの代表格。7チャンネル全てのサウンドを24ビットクオリティで再現する「AL24Processing Plus」等、同社独自の高音質技術を搭載。24bit/96khzのFLACにまで対応するネットワークプレイヤーとしての使用はもちろん、AirPlayも標準で搭載する。また、iPhone/iPodは本機とUSBで接続することで、音質劣化の無い高品位な再生が可能になる。アナログプレイヤーを接続できるフォノ端子や、FM/AMチューナー、インターネットラジオ機能も搭載。

■実用最大出力 185W × 7 ■7.2 ch ■HDMI入力×7、オーディオ入力×8、AV入力×5、コンポーネント入力×2、デジタル入力（光×2、同軸×2）、USB入力、LAN ■AirPlay対応 ■W435 × H167 × D382mm ■11.8kg

¥131,250（税込）

### 注目の機能が盛りだくさん。複雑なセットアップも容易に行える

AVアンプとしてはコンパクトなモデルながら、すべてのチャンネルにディスクリート・パワーアンプを搭載し、高いスピーカー駆動力を誇る。サラウンドバック、フロントハイトスピーカーを使用せず、フロントスピーカーだけを駆動させる場合は高域と低域を独立したアンプで駆動できるバイアンプ接続に対応しており、CDなどをより高音質で再生にすることが可能。アナログとデジタルの電源回路が独立していることも音質面で大きなメリットだ。こちらも、ネットワークプレイヤーやAirPlay、FM/AMチューナー、インターネットラジオ機能を搭載する。

■出力 80W × 7 ■7.1 ch ■HDMI入力×4、オーディオ入力×3、AV入力×2、コンポーネント入力×2、デジタル入力（同軸／光）、USB入力、LAN ■AirPlay対応 ■W440 × H105 × D382mm ■8.3kg

¥84,000（税込）

### ビュアオーディオに迫る音質を実現する、アナログ出力搭載モデル

同社の高級機と同じく、7.1chのアナログオーディオ出力回路を搭載するユニバーサルプレイヤー。ステレオはもちろん、マルチチャンネルもマラツツ独自の技術によってビュアオーディオに迫る高音質で再生できる。ネットワークプレイヤーとしての使用も可能だ。

BD/DVD/DVD-Audio/SACD/CD他 ■HDMI出力、コンポーネント映像出力、コンボジット映像出力、デジタル出力（同軸）、アナログ2ch/7.1ch音声出力、USB入力、LAN ■W440 × H109 × D330mm ■4.8kg

¥97,650（税込）

audio intoxicate the best case

NETWORK PLAYER

## ホームネットワーク

■ DENON DNP-720SE



### 多機能が魅力の超お買い得ネットワークプレイヤー

デノン唯一の単体ネットワークプレイヤー。同社のAVアンプと同様にAirPlayを標準で搭載するほか、FM/AMチューナー、インターネットラジオ機能も搭載する。対応するファイルはWAVが48kHz/24bit、FLACは96kHz/24bitまでとなっている。初期設定は非常に簡単で、すぐにネットワークに接続できる。実売価格を考えると、かなりのお買い得モデル。

■光デジタル出力、アナログ音声出力 ■ETHERNET端子、無線LAN用アンテナ端子、FM/AMアンテナ端子 ■W434 × H74 × D282mm ■2.9kg

¥50,400（税込）

## オーディオをドライブするための3枚



### これが21世紀の響き

981年ルクセンブルク生まれ。ルクセンブルク音楽院、王立ブルッセル音楽院、ラトヴィア音楽アカデミー、パリ市立音楽院で研鑽を積んだ後、1998年ジュリアード音楽院に入学、修士の学位を得る。ラ・ロック・ダンテロン、ルール・ピアノ・フェス等著名音楽祭に参加、2000年、19歳でフレトニョフ指揮RNOとアメリカ・デビュー。2004年オルレアン20世紀音楽国際ピアノコンクール優勝。クラシックのみならず、テクノ、電子音楽など様々な分野でも活躍中である。国際的コンクールでも優勝するなど、クラシック・ピアニストとして華々しい活躍を続けながら、一方では、ピアノでデリック・メイやジェフ・ミルズ等の曲をカヴァーし、更にはカール・クレイグのインナー・ゾーン・オーケストラにも参加するなど、まさに21世紀のピアニストと呼ぶにふさわしいのがフランチェスコ・トリスターノ・シュリメだ。彼の奏でる21世紀の響きは最新のオーディオで聴いてはじめて理解できるサウンドだ。

『パッケージ』  
Francesco Tristano  
[DG/ユニバーサル UCCG-1537]

### ピアノラの不滅の3部作を176.4kHz/24bitで聴く

アストル・ピアノラ晩年の傑作である三つの作品を非圧縮形式の高音質ファイルにまとめたのがこのアルバムである。80年代中期の作品であり、ヌエボキネーター最後の作品群として、ピアノラのパンドネオン、エレキギター、ベース、ピアノ、ベースという編成の作り出すアンサンブルのあらゆる可能性を示したレコーディングとして高い評価を受けている。轟るタンゴから聴かせるタンゴに変化したことで生まれた独特の楽器編成により、このバンドはタンゴを超えた固有の響きとニュアンスを獲得した。この楽器のコンビネーションによって表現されるタンゴを、プロデューサーであるキップ・ハンラハンは、ニューヨークのラテン、ジャズのレコーディングマナーが生んだ、遠近法の創りだすあたたかな光と影の空間に配置した。ピアノラの音楽の造形を、かつてのアナログ時代そのまま、あるいはそれ以上に再現することに成功した好企画。

『THE LATE MASTERPIECES  
The Complete Work on american clave  
176/24 WAV EDITION』  
ASTOR PIAZZOLLA  
[American Clavé/ewe EWDAC-1022]

### 貴重映像満載の決定版

トーキング・ヘッズの軌跡をたどった今年No.1の発掘映像！CBGB'sライブ、インタビュー&メンバー全員のオーディオ・コメントリー日本語字幕、48pブックレットなど超驚愕の内容。トーキング・ヘッズ解散20周年となる今年、超驚愕の発掘映像の登場！グループのデビューからの歩みを年代記的にまとめた進化の歴史を、貴重ライブ映像ばかりで構成！初回2000枚生産限定／48ページ豪華ハードバックカヴァー仕様で貴重な写真や、1979年ウィレージ・ボイス掲載「フィア・オブ・ミュージック」の伝説のレビュー・エッセイ他を掲載。本編映像は、結成した75年のニューヨークCBGB's、翌年のKiyochanでのライブ・シーンにまずは圧倒される（アルバム・デビューは1977年）。さらに勢いを増してきた70年代後半のステージ、「リメイン・イン・ライト」にいたる大編成への変遷、ワールドワイドな成功を収めた80年代から2002年のロックン・ロール・ホール・オブ・フェイムでのリユニオン・ライブまでを網羅した決定版。

『クロノロジー〜グレイト・ライヴ1975-2002（デラックス盤）』  
Talking Heads  
[ヤマハミュージックアンドビジュアルズ YMBA-10294]



audio intoxicate the best case

# あらゆるリスニングスタイルに対応する コンパクトな多機能機

■ Carot One ERNESTOLO



プリアンプ部に真空管を使用した超小型のプリメインアンプ

イタリア Openitem 社のプリメインアンプ。超小型だが、真空管を用いたプリアンプ部とデジタルアンプを用いたパワーアンプ部は独立しており、電源の供給回路も分られているなど、音質へのこだわりを感じさせる設計。プリアンプ部はヘッドフォンアンプにもなっており、温かみのある真空管サウンドをヘッドフォンで聴くことができる。PC / iPod や小型スピーカーと組み合わせるなど、デジタル機器とのコンビネーションで使いたい。

■出力 6W+6W ■ライン入力×1 ■W57 × H60 (115 真空管含む) × D100 (125 突起部分含む) mm

オープン価格 (実勢価格 ¥40,000 前後)

■ SHURE SE535 Special Edition



SHUREのフラッグシップモデルのスペシャルエディションが登場

カナル型イヤフォンのトップブランド、シュア SE シリーズのフラッグシップモデルのスペシャルエディション。シリーズ最上位機だけあって、音楽が鳴り始めた瞬間から明らかに違う景色が広がる。中高域用と 2 基の低域用ドライバが奏でるのは、濁りのない澄み切ったサウンド。本当にイヤフォンかと思うほど広い音場も素晴らしい。遮音性も抜群で、各楽器のダイナミクスをぞんぶんに味わえる。安くはない、けど、聴いたら絶対に欲しくなるはず。

■高性能トリプル Micro Driver ■ 116 mm

オープン価格 (実勢価格 ¥49,800 / 税込)

■ GENELEC 6000A-Tanaka Model



フィンランドの名門スピーカーブランドから登場した、モバイルスピーカー

スタジオなど、プロの現場で数多く使用されるスピーカーブランドのジェネレックから驚きのモデルが登場。本体重量わずか 620g (iPhone4 台分) の軽さながらパワーアンプも搭載するアクティブスピーカーである。もちろん、スマートフォンなどのデバイスと接続可能。スピーカーは無指向型なのでリスニングポイントを選ばず、周囲に自然なサウンドが広がる。専用のバッグが付属しており、持ち運ぶにも非常に便利。とにかく軽くてコンパクトなので、旅先での使用等には本当にうってつけ。かなり実用的なモバイルスピーカーである。

■10W+10W ■H160 × W306 × D60mm (スタンド組立時) ■620g (本体) / 950g (本体・スタンド含む)

¥73,500 (税込)

■ MONSTER Miles Davis Trumpet



ジャズを最良するならこれしかない！？ マイルスモデルの第 2 弾

「TRIBUTE」に続く、マイルス・デイヴィスのシグネチャーモデルの第 2 弾。高級イヤフォンには珍しい迫力のある低音が非常に特徴的だが、かといってそれ以外の音域に悪影響を与えているわけではない。ウッドベースの軋み、ミュート・トランペットの振れるような音はリアルで、シンバルやハイハットも明確。とにかくジャズを聴くならこれしかないかもしれないと思わせる熱いサウンドだ。トランペットのバルブ部分を模したコントローラー部にはマイクが内蔵されており、スマートフォンとの組み合わせで使用する場合は配慮がなされている。

■ダイナミック密閉型 ■ 120mm

オープン価格 (実勢価格 ¥29,800 / 税込)

## BRANDON ROSS

### Brandon Ross 2011 LIVE IN JAPAN!

12/7(水)ー9(金)  
BLUE NOTE TOKYO  
(南青山)

Naruyoshi Kikuchi presents  
"SYNDICATE NKKK  
-DCPRG & American Clavé-"  
Kip Hanrahan "Beautiful Scars" with  
special guest Naruyoshi Kikuchi

キップ・ハンラハン (musical director)  
オラシオ・エルネグロ・ヘルナンデス (trap drums)  
ロビー・アミン (trap drums)  
ユニオール・テリー (b)  
フェルナンド・ソーンダース (electric b,voice)  
ブランドン・ロス (g,voice)  
リッチー・フロレス (conga)  
ジョン・ピースリー (p)  
ヨスヴァニー・テリー (sax)  
アルフレード・トリファ (vln)  
スペシャルゲスト: 菊地成孔 (sax,voice)  
マイア・バルー (vo)

[1st]17:30開場 / 19:00開演  
[2nd]21:45開場 / 21:30開演、  
¥7,500 (税込)  
◆ <http://www.bluenote.co.jp/>

12/12 (月)  
PIT INN (新宿)

19:30開場 / 20:00開演  
ブランドン・ロス (g,voice)  
ツトム・タケイシ (b) 芳垣安洋 (ds)  
前売¥4,500 / 当日¥5,000 (税込)  
1 ドリンク付  
◆ <http://www.pit-inn.com/>  
11/6(火) より予約受付開始

12/13(火)  
ARISTO HALL (南青山)

18:00開場 / 19:00開演  
"Toru Takemitsu Project"  
ブランドン・ロス (g,voice)  
鈴木大介 (g) ツトム・タケイシ (b)  
前売¥4,500 / 当日¥5,000 (税込)  
◆ <http://acrat.jp/hall/>

12/14(水)  
月見ル君想フ (青山)

19:30開場 / 20:00開演  
Living Lovers: ブランドン・ロス (g,voice)  
ツトム・タケイシ (b)  
外山明 (ds)  
前売¥4,500 / 当日¥5,000 (税込)  
◆ <http://www.moonromantic.com/>

photo:Yuichi Hibi

intoxicate  
TOWER RECORDS

発行人 = 徳島育夫

Publisher = Ikuro Minewaki  
広告宣伝 / メディア本部 = 田中伸明  
Advertising and Media Division = Shinmei Tanaka  
メディア編集部 = 西尾大伴  
Media Editorial Department = Daisaku Nishio

編集部 = 佐々木透子、小林栄一、高見一樹  
Editors = Toko Sasaki, Eiichi Kobayashi, Kazuki Takami  
アートディレクション & デザイン = 橋本直己 (Hashimoto Design)  
Art Direction & Design = Naoki Hashimoto  
広告 = 保木聖子、片岡裕希子 メディア営業部  
Advertising Sales = Satoko Hogi, Yukiko Kataoka

発行 = タワーレコード株式会社  
広告宣伝 / メディア本部 = メディア編集部  
intoxicate@tower.co.jp  
〒150-0031 東京都渋谷区夜丘町 8-9 メイセイビル 1F  
印刷 = 凸版印刷株式会社  
©2011 by TOWER RECORDS JAPAN INC.

禁 = 無断転載 Printed in Japan

TOWER RECORDS



+



今とこれからのオーディオに必要なもの全て

Aura vivid CD PLAYER ¥126,000 (¥120,000 税別)

Aura vita INTEGRATED AMPLIFIER+TUNER ¥126,000 (¥120,000 税別)

Aura

オーラデザイン ジャパン株式会社 〒140-0014 東京都品川区大井1-41-9 phone:03-5743-6250(代) fax:03-5743-0057

Aura Design Japan

## フランチェスコ・トリストターノ 勅使川原三郎 & 佐東利穂子

リユニオン〜ゴルトベルク変奏曲〜より

2012 年 2 月 16 日 (木)

19:00 開演 / 18 時 30 分開場

## すみだトリフォニーホール

出演: フランチェスコ・トリストターノ (ピアノ)  
勅使川原三郎 (ダンス) 佐東利穂子 (ダンス)

### プログラム

フランチェスコ・トリストターノ: Hello

J.S. バッハ: 「ゴルトベルク変奏曲」より抜粋

ジョン・ケージ: ある風景の中で

フランチェスコ・トリストターノ: Nach Wasser Noch Erde 他

全席指定 (11 / 18 (全) 一般発売)

前売券 S 席 5,500 円 A 席 4,500 円 B 席 3,500 円

当日券 S 席 6,000 円 A 席 5,000 円 B 席 4,000 円

\* トリフォニークラブ会員は前売りのみ各 10%割引 (トリフォニーホールチケットセンターのみ受付)

■ チケットのご予約・お問合せ

ユーラシック 03-3481-8788

トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212

チケットぴあ 0570-02-9999 <http://t.pia.jp/> (P-コード: 416-954)

e+(イープラス) <http://eplus.jp> 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

主催: ユーラシック 共催: すみだトリフォニーホール

後援: ルクセンブルク大公国大使館 協力: ユニバーサル ミュージック

\* 都合により公演内容の一部が変更になる場合がございます。\* 末就学児のご入場はご遠慮下さい。



photo Bengt Wanselius



# DENON

## ネットワークから広がる オーディオの世界

Network

DLNA CERTIFIED

WiFi CERTIFIED



NETWORK AUDIO PLAYER

### DNP-720SE

希望小売価格 **50,400円** (税抜 48,000円)  
 (SP) プレミアムシルバー JANコード: 45-8211636-659-2  
 (K) ブラック JANコード: 45-8211636-658-5

- 有線と無線 (Wi-Fi) によるLAN接続に対応、ご家庭のどこでもインターネットラジオや高音質ストリーミングがお楽しみいただけます
- iTunesライブラリーを直接ストリーミング再生できるAirPlay標準装備
- Denon Remote AppでiPhone/iPad/iPod touchからコントロール
- AM/FMチューナー搭載
- 既存のシステムにも素直にとけ込むデノンのコンポーネントデザイン

\*本機のネットワーク機能をお楽しみいただくにはインターネットにブロードバンド接続したLAN環境が必要です。また、NASやパソコンに音楽ファイルライブラリーを整備していただく必要があります。  
 AirPlay、AirPlayのロゴ、iPhone、iPod touch、iTunesは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPadはApple Inc.の商標です。



●DENONホームページ **denon.jp**

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

音楽好き、オーディオ好きのためのフリースペース  
**デノン銀座音楽倶楽部** POWERED BY TOWER RECORDS  
 銀座並木通り5丁目カルティエ隣11階、Caspa銀座にて好評開催中!  
 月1回金曜日 (15:00~20:00) 開催日、詳細はホームページで [denon.jp](http://denon.jp)



# marantz®

## つながる 広がる 楽しめる

ネットワーク機能を搭載したマランツ製品ならパソコンやNASのライブラリーに保存している  
 お気に入りの音楽ファイルをDLNAやAirPlay※を使って簡単に楽しむことができます。



NETWORK AUDIO PLAYER **NA7004**

希望小売価格: 97,650円 (税抜価格: 93,000円)



AV SURROUND RECEIVER **NR1602**

希望小売価格: 84,000円 (税抜価格: 80,000円)



AV SURROUND RECEIVER **SR6006**

希望小売価格: 147,000円 (税抜価格: 140,000円)



NETWORK CD RECEIVER **M-CR603**

希望小売価格: 69,300円 (税抜価格: 66,000円)

※NA7004/M-CR603は有償アップグレードが必要となります。  
 ●DLNAおよびDLNA CERTIFIEDはDigital Living Network Allianceの商標です。  
 ●AirPlayは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

<商品に関するお問合せ>マランツお客様相談センター 〒210-8569 神奈川県川崎市川崎区日進町2-1 D&Mビル TEL. (03) 3719-3481

<ご相談受付時間>9:30~12:00、13:00~17:00 (土・日・祝日、弊社休日を除く)

# because music matters

<http://www.marantz.jp>